

日 時	令和7年11月27日（木） 10:00～11:30 第2回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、鈴木副市長、技監、総務局長、財政局長、脱炭素・GREEN×EXPO推進局長、市民局長
欠席者	佐藤副市長、政策経営局長、港南区長
議 題	1 図書館ビジョンの具体化に向けた今後の取組について【教育委員会事務局】
議事要旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年12月に公表した「今後の市立図書館再整備の方向性」に基づき推進する、①地域館の老朽化対策、②図書サービスへのアクセス性の向上、③新図書館整備の各施策について具体的な内容を確認 ・新図書館の整備については、今後、今回提示する目指す姿、施設規模、立地場所の考え方に基づいて推進 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ビジョンの具体化に向け、各取組を推進する。 ・地域館の老朽化・狭隘化等への対策として、まちづくりの進捗に合わせた再整備を順次実施する。 ・すべての地域館再整備の完了には時間がかかると見込まれるため、短期的な対策として、リノベーションによる居心地向上をめざす。 ・現在12か所の図書取次拠点について、令和11年上半期までに40か所程度となるよう、30か所程度増設する。 ・時代・ニーズの変化と、狭隘化等市立図書館が抱える課題を抜本的に解決するため、新図書館の整備を推進する。今後、市民意見募集を行った上で、整備基本構想を策定する。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館の整備や地域館の老朽化対策などについては、過度な財政負担とならないよう、市費負担を含めた事業規模、整備箇所数、整備期間等を整理すること。 ・情報提供・交流機能等がより一層強化されることも踏まえ、図書館は、他施設を含めた複合化による魅力向上や施設の最適化、適正な配置等を考える必要がある。 ・余剰床の貸付や駐車場の有料化など、あらゆるリソースを活用して財源創出を図ること。 ・運営費については、民間の知見を導入させるなど、これまでの運営方法のみを念頭に置くのではなく、PPP／PFIや指定管理者制度等の公民連携手法を活用した事業スキームについても検討する必要がある。 ・今後の図書館の機能について、司書職が担うべき分野を明確にし、専門性を発揮すべき分野に特化・注力できるよう選択していく必要がある。

- ・デジタル技術を活用した既存業務の更なる効率化を図るなど、運営コストの縮減を検討すること。
- ・図書館整備後の運営体制について、整備段階から具体的な計画策定を行うこと。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。